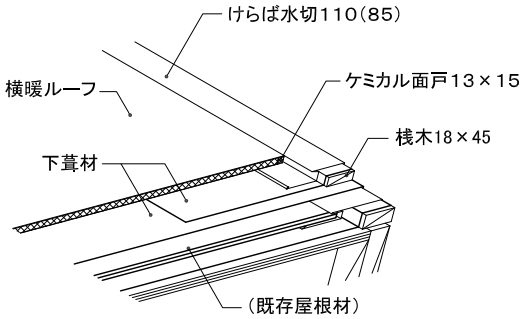
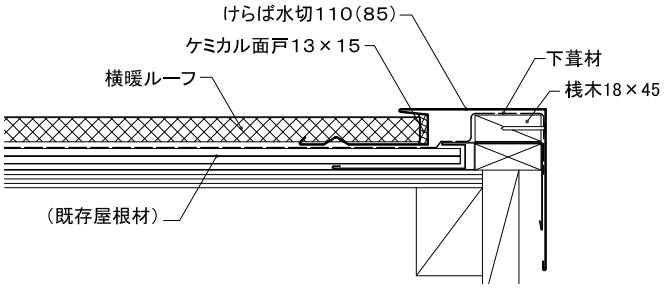
横暖ルーフ	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

4）けらば部

④けらば水切110（85）

●下葺材は既存水切にかぶせて既存屋根材の上に張ります。
●けらば部に桟木18×45を取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
●けらば水切110（85）は留付釘（ステンレススクリュー釘 長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けます。
●けらば水切110（85）にケミカル面戸13×15を貼り付け、横暖ルーフ本体をけらば水切110（85）に差し込みます。
●軒先端部、大棟部の仕上げは、図のように加工し納めます。

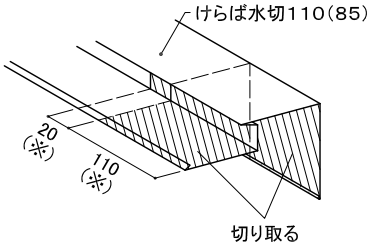


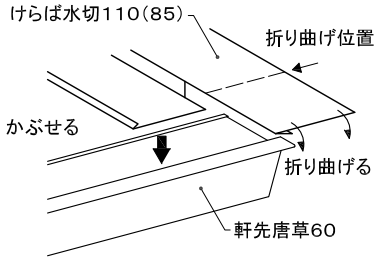


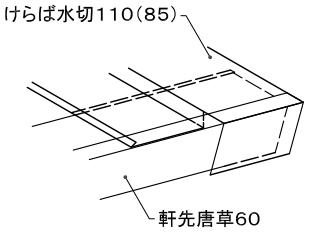
部分断面図

図はけらば水切110で表現しています。

■施工ポイント・現場加工図
●軒先部は、軒先唐草60にけらば水切110（85）をかぶせます。







①けらば水切110（85）は図のように切断します。
※切り取り寸法は既存屋根材に応じて変更してください。

②けらば水切110（85）は軒先唐草60にかぶせ、図のように折り曲げます。横暖ルーフが軒先唐草60に差し込めるように、けらば水切110（85）と軒先唐草60の取り合い部の隙間を調整してください。

●その他の加工例



けらば水切110（85）軒先部の加工例





けらば水切110（85）と軒先唐草の取り合い